

このたびは 饗月のお力作、ある女
の遠景への惠送よあつまり、厚く
お礼申上げます。

装束も内山さんふさわしいを厚く
華弱鹿なものやうな思ひます。

改めてゆつくり 初文の夜のたのしみ
又、燈火をあかしくして拜見したい
と存じます。

とり敢へず、右の礼の言葉まで。

弟

十一月二日

田村泰次郎

舟橋聖一様

田村泰次郎

東京都杉並区神明町一四九番地
電話(三九一)二八八五番

十一月二日